

**B—52 婦人用ナイロンストッキングの消費科学的研
究（第1報）**

—ストッキングのずれについて—

日本女大家政 大野 静枝
○大川 陽子

1. 婦人用ストッキングの着用中に生ずるずれやたるみの原因を知るために次のような研究を行ない、いくつかの知見が得られた。

2. ストッキングの着装条件と考えられる、ストッキングを固定するガーターの長さ (0, 3, 10, 25 cm), とめ具の位置 (I, II, III), ストッキングのウエルト把持部の位置 (上, 下) およびストッキングの伸長度 (0, 5, 10%) をそれぞれ変化して, 着用実験をおこない, ストッキングのずれ量を求めた。ずれ量は, よこ方向とたて方向に分けて考え, よこ方向は, 前後面およびサイドの動作によるずれ面積を求め, たて方向は膝関節部から上, 下のずれの長さを求めた。その結果は四元配置の分散分析法で解析した。

3. (1) よこずれについて

a) ガーターの長さは短い方がずれにくい。

b) ガーターの長さが長いときは, とめ具の位置はIIがよい。またストッキングはあまり伸長しないで着装するのがよい。

(2) たてずれについて

a) ガーターの長さは, 短い方がよい。

b) とめ具は, ウエルトの上部把持のときは, IIの位置がよい。また下部把持のときは, Iの位置がよい。しかし, ガーターの長さの短いときは, IIの位置がよい。

c) ストッキングの伸長度は, ウエルト上部把持, 下部把持共に少ない方がよい。しかしガーターの長さの短いときは5%伸長でもよい。